

本人・保護者と共につくる支援シート これまでの支援これからの支援

高・在学用

ふりがな 氏 名	所属機関	相談メンバー
	↓	

本人の 願い	・部活動と勉強との両立を図ること。 ・大学への進学を希望	
	〈進路〉・進学() ・就職 ・就労支援(各種手帳使用 有・無) ・その他() ・未定	記入日
保護者の 願い	トラブル等あったときには、本人の特性を理解した上で手助けをお願いしたい。また、家庭にもすぐに連絡がほしい。	令和 4 年 12月3日
	〈進路〉・進学() ・就職 ・就労支援(各種手帳使用 有・無) ・その他() ・未定	記入者
家庭生活・ 生活・健康等 の様子	・卒業するまでに、人との関わり方を学んでほしい。また、集中力が継続するような指導をしてほしい。 ・自力登下校ができるようになってほしい。 ・高等部を卒業した後は、就労を希望している。	長沢泉
	生活面・学習面・コミュニケーション等	
これまでの 取り組み	○突然の変更等には対応しづらく混乱することがあるので、あらかじめ指示や視覚支援を明確に出した。 ○周りのことを考えずに自分の思いで言葉を発することが多かったので、相手の気持ちや状況に応じて適切な言葉の使い方ができるような言葉かけをしてきた。 ○プリントなどにより、文字にして目に見える形で知らせるようにした。 ○必要なことはメモに取るなどしながら、話の内容を正しく聞き取ることに取り組んだ。 ○金銭学習では、予算を立てて計画的に買い物をし、レシートや領収書の使い方について学習してきた。	記入日 令和 5 年 2月28日
これまでの 取り組みの 評価	○見通しを持つと、初めての活動等でも落ち着いて取り組むことができるようになってきた。 ○友人・目上の人との会話、電話での対応等、場面に応じて適切な言葉の使い方が分かるようになってきた。 ○相手から短く要点を伝えられた場合には、メモに取りながら聞き取ることができるようになってきた。 ○金銭学習では、レシートや領収書の使い方がわかるようになってきた。	記入者 池上弘 所属 平坂高等学校

これから の計画 (一年間) の指導・支援	○集団での活動の際や、複数の活動や役割をこなす際などに、教員が関わりながら場や相手の状況に応じたコミュニケーションができるように取り組む。 ○確認する習慣を身につけ、課題等の提出を確実にする。 ○困ったときに自分から発信できる力を身につける。	記入日 令和 5 年 5月25日 記入者 久里浜 洋子 所属 平坂高等学校
--------------------------------	---	--

各機関の支援の記録(保護者が記入します)

支援機関:	障害福祉課	担当者:	〇〇
内容:	福祉サービス 全般		
時期:	H26 年 6 月～ 年 月 継続中	連絡先:	046-〇〇〇-〇〇〇〇
支援機関:	〇〇〇クリニック	担当者:	〇〇医師
内容:	月1度通院 服薬処方あり		
時期:	令和2年 4月～ 年 月 継続中	連絡先:	〇〇〇-●〇〇-●〇〇〇
支援機関:	放課後等デイ 〇〇〇〇	担当者:	
内容:	週3日 放課後支援		
時期:	H27年4月～ R4年3月 終了	連絡先:	046-■ ■ ■-〇〇〇〇
支援機関:		担当者:	
内容:			
時期:	年 月～ 年 月 継続中・終了	連絡先:	
支援機関:		担当者:	
内容:			
時期:	年 月～ 年 月 継続中・終了	連絡先:	
支援機関:		担当者:	
内容:			
時期:	年 月～ 年 月 継続中・終了	連絡先:	

各種手帳の有無(任意)

現在は所持していないが、過去に取得していたという場合も、情報としてご記入いただくことができます。

手帳の種類	等級	時期
精神保健手帳	2 級	令和4年4月～
身体障害者手帳	2種 4級	平成26年5月～
療育手帳	B2 級	平成26年9月～令和2年2月